

【アイデア部門】

価値転換賞 今村 友香

視覚障害者による フレグランスブランドをつくる

視覚障害者の方は眼に障害があるためほかの感覚が優れているのではないかと私は考えます。

そして嗅覚に重きをおいた調香師は視覚障害者の方の能力を最大限に生かせる職業だと思います。

匂いというのはいろいろな場面においてとても重要なものです。例えば旅館などは非日常を感じれるような高級感のある落ち着いた香りがします。またオフィスなどでは清潔感のある香りなどそんな香りを細かいところまで嗅ぎ分け香りをつくっていく。お客様を幸せにできるような繊細さのある視覚障害者の方のフレグランスブランドを作ること。私はそんなブランドがあればいいなと感じます。

審査員コメント

香りは視覚障害者のランドマーク、暗闇の導き手としても活用できそうですね。

ブランド化するというところがとてもよい視点だと思います。ただ、どのようにブランドを打ち出すか、差別化を図るかが一番の肝で、検討しがいがありますね。



今村 友香

視能訓練士養成校学生